

赤い靴通信 439号

先月号に続きます。関東大震災から立ち直った横浜市が「復興記念横浜大博覧会」を昭和10年に震災瓦礫の埋め立てによって作られた山下公園を含む一帯で開催されました。現在の公園からは想像のつかない程の大テーマパークに変貌したのです。今のバラ園の辺りはポートベーションという大きな海水の池がありまして。鯨の生簀で、私が見たときは3頭が元気に泳いでいました。残念ながら、その後数日で死んでしまったそうです。嵐になると小舟はみなその池に逃げて入るのです。バラ園ができるまでずっとその池はありました。また、博覧会の広場ではアメリカから来たカーボーイとインディアンが映画の西部劇のように投げ縄や馬の曲乗り、そしてオートバイサーカスなどの妙技を披露していました。会場正面には、高い塔が出来、そこから大きな水桶に飛び込む芸人もいました。シワクチャーズの方でその時に購入したドイツ製の肉用のミキサーを未だに使っていると聞きました。私は家が近かったので自転車で毎日行って、入場券なしで見えるところで見えていました。私が6歳の時の鮮烈な思い出です。

さて、サクラメント・カリフォルニア州立カレッジに留学していた頃、私の滞在期間が間もなく切れる数週間前、担任の教授から「もう直ぐ帰国だな。この学校は日系人は居るが、戦後本国から来たのは君だけだ。この間見せて貰った『書道』だが、感動したのは私だけではない。記念に少し書いて学校のギャラリーで展示会を開いたらどうだろうと先生方で相談しているのだが」と言われたのです。学校に文具を納めているサンフランシスコの文房具店に紙も墨も貸し額もありどうぞと言ってくれていると言っています。私は学校の授業として習ったことはありますが、特別に書だけを習ったことはなく、いたずらに文字をデフォルメするのが好きで、先生にお見せしたのはその一部でした。思い掛けず異国でのお声がけに、急に嬉しさが込み上げてやる気が出てきた私は、「やらしてください」と即答しました。それまで個展もやったことがなかったので、それから夢中で書きました。私の好きな字は「無」と「石」です。「石に向かつてゆるがぬ心」「石をもゆるがず強い心」「転がる石に苔はつかず」「他山の石以って玉を攻むべし」「石橋をたたいて渡る」「雨垂れ石を穿つ」「石の上にも三年」様々ありますが、40点書いて完売しました。学長先生は「人間本来無一物無一物中無尽蔵」を購入してくれました。日本の文化は文字を書いてこそに人生訓が入っているのだなと感動していました。

帰国後、私は当時の山下公園前のザ・ホテルヨコハマの中にギャラリーにいなあとと思う通路があり、早速創業以来仲良くしている支配人に言うのと快く承諾してくれました。そして、作品を飾り付けるレールを天井に取り付けてくれ、初回の個展が開かれました。続いて県民共済のギャラリーやシルクセンターギャラリーで、現在まで10回ほどの個展をいたしました。ある日、知り合いのドイツ人の方が見えて、娘さんがベルリンで画廊を経営しているのので16枚の作品を作ってほしいと言われお持ちになりました。数日後、初日の午前中で完売したということ喜んでくれました。

何回目かの個展の折に私の作風を褒めた記事が新聞に載りました。私の名前の前に書家と書かれたことが気に入らない書道の先生が「自己流の字を書いて書家などおこがましい。もう新聞は取らない。」と記者に怒りをぶつけてきたとのこと。私は自分を書家と書いたこともなく、名乗ったこともありませんが、その出来事をきっかけに、書道と言わず「墨の魂」と変えることにして、今もそれで通しています。さて、前述のように石に関する書をよく書きました。が、本物の石とも縁があり、いつかの間に有名な菊花石、桃花石、佐渡の赤



2023年10月14日15日 開演時間 10:00-17:00
会場 横浜市役所アトリウム
東京湾大感謝祭 2023

詳細はスケジュール★①を参照ください



麦田清風荘
横浜キッズショー
日時: 令和5年10月22日(日曜日) 11時00分~12時00分
場所: 2階 大広間
対象: 出演者ご家族
定員: 30名
参加費: 無料

詳細はスケジュール★②を参照ください



中区民祭り
ハローよこはま
日時: 11月12日(日) 10時~16時
会場: 象の鼻パーク

詳細はスケジュール★③を参照ください

今後のスケジュール

- ★①10/15(日)
出演時間: 10:30~11:00
「東京湾大感謝祭」
場所: 横浜市庁舎 1Fアトリウム
出演: 横浜市民子どもミュージカル
観覧無料
- ★②10/22(日) 11:00~12:00
「横浜キッズショー」
場所: 横浜市麦田清風荘
出演: 横浜市民子どもミュージカル
天才!あやとりサトシ君
観覧無料 ※観覧は関係者のみ
- ★③11/12(日)
出演時間: 11:05~11:25
「ハローよこはま」
場所: 象の鼻パーク特設ステージ
出演: 赤い靴ジュニアコーラス
観覧無料 ※詳細後日
- ★12/24(日)・25日(月)
「クリスマスキャロル」(各回・20分)
場所: ヨコハマグランドインター
コンチネンタルホテル 1Fアトリウム
時間: 各日①15:30~ ②17:00~
出演: 赤い靴ジュニアコーラス 赤隊
観覧無料

玉などに凝ったことがあり展示会を催したことがありません。横浜駅西口ピルの専門店で大勢のお客さまをお呼びしました。その中に当時の防衛庁長官・小泉純也先生(小泉純一郎元総理のお父様)や議員の方々がよく来られました。そして、「水石」という雑誌から「水石の優雅な飾り方」などの原稿の依頼を受けて書いたりもしました。また石集めでは、台湾の方のご紹介で南端に近い「花連市」の太湊閣(タロコ)溪谷の穴空き石が見事だと言ったので10日位滞在し、石工を2人頼んで毎日掘り出しました。横浜に無事に着くまでいろいろありましたが、素晴らしい石ばかりで嬉しくなりました。当時、私は南区の別所というところに住んでいたのですが、重い石の運搬が大変でした。それらを家の周りに置き、シルクセンターまで運ぶのも大騒ぎでした。昔は力仕事も出たのです。

先日、玄関の横の石垣の石の中にキラキラ光るグリーンの小さなかけらかいつぱいあるのを見つけました。房州石ですが、石の間から光を出しているのです。思わずお金持ちになりそうだと思ってしまうました。建築用材に適した良質な石で、軟らかくて火に強い特徴があり200年前ほど前から切り出され、南房総から東京、横浜の地にも運ばれてきたのです。石切り場跡のあの切り立った鋸山の石に混ざっているガラス質のかけらから、何万年もの間の海面変化や地殻変動によって生まれた歴史に至って、石へのロマンを感じています。

10月15日(日) 10時30分~11時の「東京湾大感謝祭」に横浜市民子どもミュージカルのメンバーが出演します。地元生まれのオリジナルミュージカル作品の10年間を振り返ります。子ども達のナレーションとミュージカルナンバーをぜひお楽しみください。会場は、横浜市庁舎1階のアトリウムで無料です。また、22日(日)には横浜市麦田清風荘で小学3年生の天才あやとりサトシ君と前述の子どもミュージカルメンバーが「よこはまキッズショー」を11時~12時に披露いたします。そして、11月12日(日)の「ハローよこはま」には、赤い靴ジュニアコーラス(テンダーフット&青隊、赤隊I・II・皿クラス)の全員が出演いたします。時間は11時5分~25分、会場は象の鼻パーク特設ステージです。横浜市中区の全世帯に配られる「広報よこはま・10月号」のトップページに昨年の舞台からジュニアコーラスが歌っている風景が選ばれて載っています。皆素晴らしい表情をしています。各秋の催しにお運び頂けたら嬉しいです。同じ10月の広報に横浜市民ミュージカル・来年5月公演「象の鼻のミケ」の出演者募集記事が載っています。こどもシニアまでの皆さまの応募をお待ちしております。

令和5年9月30日付(10月8日発行) 団長 松永 春